

一般質問通告事項【12月7日(月)】《1日目》

令和2年第6回松江市議会定例会

順序	議員名	森脇 勇人	(代表質問) (一括方式)	質問日 (予定)	12月7日
質問項目		質問要旨			
1	来年度予算編成に向けた市長の政治姿勢について	(1) 来年度は市庁舎建設をはじめ、松江北道路、新大橋架け替え、大橋川護岸整備のかわまちづくり事業など国・県・市の事業は、いよいよ松江の将来のまちづくりに取り掛かっていく。市長、議員も任期を迎えるが、来年度の予算編成方針と来年度に向けた市長の思いを伺う。			
2	過疎地域自立促進特別措置法(過疎法)・原子力発電施設等立地地域の振興に関する特別措置法(原発特措法)の期限延長について	(1) 過疎法については令和2年度で期限が来るため、市議会でも延長要望を国に提出した。みなし過疎が廃止され一部過疎は残るようにも伺うが、現在の状況を伺う。 (2) 原発特措法についても令和2年度で期限が来るため、同じく市議会でも再延長の要望を出している。今まで原子力発電施設等の周辺の地域について、地域の防災に配慮しつつ、生活環境、産業基盤等の総合的かつ広域的な整備に必要な特別措置を講ずることを目的とした、いわゆる地域振興に寄与した内容であったため旧民主党の時は賛同されてきたが、立憲民主党となり今回は議員立法に賛同されないように伺う。政府提案になるようにも伺うが、現状と見通しを伺う。			
3	中期財政見通しについて	(1) 先般令和2年～6年度の5年間の中期財政見通しについて説明をいただいた。新型コロナウイルス感染症の影響からの回復や、大規模事業に対応した財政基盤の確立をポイントにされているが、今回の中期財政見通しをどのような方針で立てられたのか伺う。 (2) 普通建設事業などをその都度見直すのは良いが、10年以上事業に着手していながら更に事業年度が細分化されるものも見受けられる。事業効果を出すためにも早急な対応を望むが、所見を伺う。			
4	令和2年2月補正予算、令和2年度予算の事業進捗について	(1) 令和2年2月補正予算では、国の補正予算に呼応し15億6,886万円の予算が組まれた。多くのコロナ対策事業に着手する中、補正予算、令和2年度予算の当初事業の進捗を心配するところであり、何件かの入札不調も出ているように伺うところだが、事業の執行状況を伺う。			
5	産地交付金について	(1) 来年度の交付状況や補助内容がどうなるかわからず、農家の方は不安であると思う。来年度の方針に向け、作付が終わるまでに方針を定め説明されるべきと考えるが、県はどのような方針で土地利用型作物への補助を行うのか伺う。 (2) 園芸作物に転換できない生産者に市はどのような対応ができるのか伺う。 (3) 県との協議の内容、生産者の考え方など、どのように把握しているのか伺う。			

一 般 質 問 通 告 事 項【12月7日(月)】《1日目》

令和2年第6回松江市議会定例会

順序	1	議員名	森脇 勇人	(代表質問) (一括方式)	質問日 (予定)	12月7日
質問項目	質問要旨					
6	中海・宍道湖圏域における道路整備について	(1) 11月20日に国土交通省中国地方整備局、島根鳥取両県をはじめ周辺市町村により中海・宍道湖圏域道路整備勉強会が開催されたという。この勉強会の今後の取り組みに大変期待するが、市長の所見を伺う。				
7	松江市の人口動態について	(1) 先般令和2年(令和元年10月～令和2年9月)の出生数が1,467人との報告があった。自然増減は早ければ来年には1,000人以上減少となる見込みであり、社会増減は333人減となり令和元年の107人減を200人以上減が上回っている。 ア 人口減少対策には可処分所得向上や高いスキルが学べる教育環境が必要と思うが、市長の所見を伺う。 イ 人口減少対策は行政・民間の経済界が危機感を持って待たないで取り組まなければならないと思うが、松江市の人口動態について市長の所見を伺う。				

順序	2	議員名	野津 直嗣	(代表質問) (一括方式)	質問日 (予定)	12月7日
質問項目	質問要旨					
1	松江のまちづくりについて	(1) 大橋川改修事業に伴う周辺の護岸整備、Park-PFI や公園指定管理の現在の検討状況と今後の予定を伺う。また、以前提案していた伊勢宮港湾緑地帯の水辺横丁構想(案)の現況を伺う。 (2) 大橋川の水辺の利活用と回遊性の確保など、特に松江大橋の白濁部分のボックスカルバートの導入はより一層の回遊性の確保の為に必要であり、国に積極的に要望をお願いしたいが伺う。 (3) 松江駅前、県立プール跡地、お城・殿町周辺、新庁舎周辺、総合運動公園周辺、プラバホール周辺など各エリアの計画や都市デザイン案の進行管理の現状はどうか伺う。 (4) プラバホールに都市構造再編集集中支援事業を用い、改修には地方創生拠点整備交付金事業が充当できる可能性があると思うが考えを伺う。 (5) カラコロ工房については耐震改修だけでなく魅力的な改修、また最も大切な今後の指定管理や運営などには民間活力を導入し、カラコロ工房の観光拠点化をするべきだと思うが考えを伺う。 (6) フォーゲルパークも老朽化が進んでいる。指定管理者が非常に頑張っており、この施設も地方創生拠点整備交付金があるうちに早期に新規改修とリニューアルを行い、松江の観光の魅力を高めるべきだと思うが考えを伺う。 (7) マリンパーク多古鼻も同じであり、将来的にわたって採算性が取れ、持続性や将来性が高い施設には国の財源を使い積極的に公共投資を行い、バージョンアップするべきだと思うが考えを伺う。				

一 般 質 問 通 告 事 項【12月7日(月)】《1日目》

令和2年第6回松江市議会定例会

順序	議員名	野津 直嗣	(代表質問)(一括方式)	質問日(予定)	12月7日
質問項目	質問要旨				
2 公園の遊具の改修について	(1) 古くなった公園の遊具や整備完了をより一層推進するべきであり、現在の遊具改修の予算と実情はどうなっているか、追いついているのか、いないのかを伺う。				
3 国際芸術祭の開催について	(1) 先般、姉妹都市である珠洲市に伺った。財政規模が小さい中で奥能登国際芸術祭を開催されていた。松江市でも3年に1回の芸術祭(トリエンナーレ)の開催は必要だと思っている。豊かな水辺風景、小泉八雲、茶の湯文化、集落ごとに根付く豊かな営み、必ず芸術祭が光を当てて、地域の誇りや喜びに繋がるものと12年前の提案から熟慮してこの結論に至った。ぜひとも検討を開始すべきだと思うがいかがか。				
4 コロナ禍での子どもたちの影響について	(1) コロナ禍による子どもたちの生活環境の変化が学校で影響として発現していないか?テレビ、スマホ、ゲームなどの電子デバイスとの接触機会が増えているものと思われる。もう何年も言っているがいつまでこの問題を見て見ぬふりをするのか。一時の不登校や前頭葉の形成などが子どもの将来に大きく左右する。ノーメディア週間の増強、講師派遣や研修会、啓発活動をさらに積極的にすべきではないか、考えを伺う。				
5 橋北の拠点校の現状と今後について	(1) 特別支援に対する橋北の拠点中学を母衣小学校との連携から松江二中となったが、今後のソフト、ハードの計画と現況について伺う。				
6 コロナ対策(経済対策)について	<p>(1) 国の第3次地方創生臨時交付金も予定されている。早期に支援体制の調査や施策の決定を急ぐべきであり、第3波の存在は経済だけでなく、経営者の心を折る。個別具体、救えるところからでも早急に対策を組成するべきだと思うがいかがか。</p> <p>(2) 居酒屋を含む飲食業のダメージが最も大きいといわれているが、その中でも第1波からその影響を受け回復基調無く、耐えている職種が接待を伴う飲食業ではないか?スナックやバーなどの現況と、今後の支援をするべきだと思うが伺う。</p> <p>(3) 障がい者作業所の現況は大変苦しいと聞いている。支援を構築すべきであるが伺う。</p> <p>(4) 小児科医、アパレルショップなど、コロナ禍で目立たない隠れた影響を受ける業態があるのではないか?そういう部分ではヒアリングはできているか?なければ独自政策でも支援が必要だと思うが伺う。</p>				
7 コロナ対策(組織体制)について	(1) 国から様々な業務が下りてくる中で、健康部や保健所などの人員体制の確保、コロナ発生時など特に追跡や調査など業務負荷がかかりすぎていないか?その人員体制によってひいては市民の感染拡大にもつながっていく、ここのプラットフォームの強化が最優先ではないか?				

一 般 質 問 通 告 事 項【12月7日(月)】《1日目》

令和2年第6回松江市議会定例会

順序	議員名	野津 直嗣	(代表質問)(一括方式)	質問日(予定)	12月7日
質問項目	質問要旨				
8 公共事業について	(1) 公共工事の発注について不落が多いと聞いているが、今後の対策について市の考えを伺う。 予定価格の事前公表、改修工事の弾力的な価格変動などを伺う。				

順序	議員名	石倉 徳章	(代表質問)(一括方式)	質問日(予定)	12月7日
質問項目	質問要旨				
1 市長の政治の考え方について	<p>(1) コロナ感染症問題と経済対策について 市民に対し感染予防状況と経済対策を詳細に知らせるべきではないか。経済対策や市民の日常生活防衛に力点をおくべきではないか。</p> <p>(2) 弱者対策について 市は失業者、派遣切り、学生のアルバイトの状況を把握できるか伺う。中小企業、小規模企業者の現況を把握しているか伺う。</p> <p>(3) 財政問題と次年度予算編成について 来年度の税収は激減するといわれる。予算編成事情についていかなる考えか、また、10月に策定された中期財政計画の考え方を伺う。</p>				
2 新庁舎問題について	<p>(1) 今後とも過剰なまでも周知・広報をすすめるべきであると考え。所見を伺う。</p>				
3 人口減少防止対策について	<p>(1) コロナ感染症問題があるうと、地方社会の最大の懸案事項として取り組むべきであるが、見解を伺う。</p> <p>(2) 若い女性の地方離れの抜本的な対策に重点をおくべきと考える。所見を伺う。</p> <p>(3) テレワーク、リモートワーク、日本版 CCRC 構想について如何なる見解か伺う。</p>				
4 美的公衆トイレの整備について	<p>(1) 大変歓迎する施策である。如何なる状況からの立案か伺う。</p> <p>(2) 公衆トイレの設置がこの度の計画ではまだ少ない。また、建設とともに管理面の充実を要望するが、再考はないか伺う。</p>				
5 農業政策について	<p>(1) 米余りの状況である。大型農政と作物転換について見解を伺う。</p> <p>(2) 産地交付金制度の利用状況と今後の予測、また、転作についての方向はいかに考えるか伺う。</p>				

一 般 質 問 通 告 事 項【12月7日(月)】《1日目》

令和2年第6回松江市議会定例会

順序	議員名	森本 秀歳	(代表質問) (一括方式)	質問日 (予定)	12月7日
質問項目	質問要旨				
1 来年度予算編成の考え方	<p>(1) 中期財政見通しは、新型コロナウイルス感染症の影響も前提条件として加えられており、歳入における市税については、リーマンショック時と同程度が見込まれている。しかし、コロナ禍の影響はリーマンショック時以上で、景気回復は遅れるとみられている。雇用情勢も悪化しており、島根県においては注意を要する状況が4月以降から続いている。このような状況の中、リーマンショック時と同程度の見込みでの試算で大丈夫なのか。中期財政見通しの策定の考え方について伺う。</p> <p>(2) 今年度の税収への影響額を約10億円見込んでおり9月議会で答弁された。来年度予算における歳入面での影響額はいかに想定しているのか伺う。</p> <p>(3) 政策的な投資について、コロナ禍の終息が見通せない中、これまでの延長線のような事業は困難ではないかと考える。予算編成にあたり、どういう点に注力される考えなのか。また、インバウンド観光については当面は期待できないと言われている。国内や近隣地域あるいは地元の方々をターゲットにした施策が必要と思うが、観光施策について考えを伺う。</p>				
2 産業支援	<p>(1) 市内の小規模・中小事業所の状況について、9～11月にかけては回復の兆しがみえてきているが、コロナ禍以前のレベルまではもどっていない。業種や製造品目によっても不調なところと好調なところがある。市内の製造業の現状と今後の見通しをどうとらえているのか。また、飲食店、宿泊施設などの観光分野や製造業への支援を行ってきたが、その他の業種等で支援を必要としているところはないか伺う。</p> <p>(2) 9月議会で補正予算計上された製造業緊急販路拡大支援補助金、製造業緊急現場改善支援補助金の申請状況について伺う。また、補助の追加やものづくりアクションプランにある計画を拡充するなど、支援を継続して行く考えはあるか伺う。</p> <p>(3) コロナ禍により地方移住という動きが出始めている。特にテレワークが広まってきている中、松江市でも観光地などの宿泊施設を利用してテレワークを行うワーケーションの受け入れが始まったようである。ワーケーションをはじめ IT 産業の誘致などに力を入れていくなど、地方移転など働きかけるチャンスと考えるがいかがか。</p>				
3 ICT活用教育	<p>(1) タブレット端末の配備は今年度末までに完了とのことだが、ハード整備も含め端末配備の進捗状況について伺う。</p> <p>(2) 運用については教員任せにならないようにしなければならない。そのためにも IT 事業者や地域ボランティアの方々による ICT 支援員の配置が必要と考えるがいかがか。また、先進的な取り組みをしている近隣自治体もあり、それらも今後参考にすべきと思うがいかがか。</p> <p>(3) 今後運用していくにあたっての課題について伺う。</p>				

一 般 質 問 通 告 事 項【12月7日(月)】《1日目》

令和2年第6回松江市議会定例会

順序	議員名	森本 秀歳	(代表質問) (一括方式)	質問日 (予定)	12月7日
質問項目	質問要旨				
4 自死対策	<p>(1) 10月の全国での自死者数が2,153人と前年同月比で4割増、女性に限れば8割増と報道があった。島根県においても、松江市においても同様に増加傾向にある。松江市での増加の要因をどう見ているか伺う。</p> <p>(2) この状況について、松江市自死対策事業検討会で話し合われている内容について伺う。また、市としての今後の対応について伺う。</p>				
5 多頭飼育問題	<p>(1) 出雲市で180匹もの犬を飼育している民家から犬が飼えなくなったとの通報を受けた保健所が、民間の愛護団体に救援を求め対応に当たったとの報道があった。今回の件は氷山の一角であり、多頭飼育の実態は想像以上であり、実態把握するにも飼い主の同意を得ることができず難しいと聞いている。松江市での状況について伺う。</p> <p>(2) 松江市でも今回のような事例が起こらないとは限らない。市や県の立場を超えた協力体制が取れるよう仕組みを変えていかなければならないと思うがいかがか。また、犬の登録はリサイクル都市推進課となっている。保健所での登録ができれば、実態把握、フォローが容易になると思うがいかがか。</p> <p>(3) 出雲市には中長期にわたっての保護、避妊手術ができる施設、愛護センターがある。松江保健所でも一時的な保護はできるが、現状では満杯状態となっており、余裕のない状況である。松江にこそ必要な施設であり、設置すべきと考えるがいかがか。</p> <p>(4) 今回の件で、多頭飼育に至るまでの経緯をみると、飼い主である方への生活支援や心のケアが必要ではないかと思う。単にかわいがるだけで避妊手術のことを知らないがためにいつの間にか増えてしまった、高齢者で一人暮らしの方が寂しさからペットを飼い始めたものの、世話ができなくなり家の中で野放し状態となる、などの事例がある。今後、保健所と福祉部署とが連携をしながらの対応が必要と思われるがいかがか。</p>				

順序	議員名	篠原 栄	(代表質問) (一括方式)	質問日 (予定)	12月7日
質問項目	質問要旨				
1 市長の所見と 予算策定方針に ついて	<p>(1) この4年を振り返り市長の所見と新年度予算の策定方針について伺う。</p>				
2 新型コロナウ イルス対策につ いて	<p>(1) ワクチン接種などの運営に関する計画策定は如何か。</p> <p>(2) ワクチン接種に関する国への要請は如何か。</p> <p>(3) 相談・検査が可能な医療機関の追加と医療機関リストの公表をしない理由を伺う。</p>				

一 般 質 問 通 告 事 項【12月7日(月)】《1日目》

令和2年第6回松江市議会定例会

順序	議員名	代表質問(一括方式)	質問日(予定)
5	篠原 栄		12月7日
質問項目	質問要旨		
2 新型コロナウイルス対策について	(4) 新たな相談・検査体制の具体的な流れを伺う。 (5) 新たな体制と地域外来・検査センターとの関係は如何か。 (6) この体制が保健所の負担軽減につながるのかどうかを伺う。 (7) 医療体制の現状を伺う。		
3 行政のデジタル化について	(1) 地方にとって使い勝手のいいシステムを望むが、国にどのように求めるのか伺う。 (2) デジタル化が行政の広域連携に資すると考えるが如何か。 (3) 専門部署が必要と思うが伺う。 (4) マイナンバーカードの活用について国はどのように進めていく考えなのか伺う。 (5) デジタル教科書、デジタル教材の取組について伺う。 (6) 脱ハンコ社会のメリット、デメリットは如何か。		
4 金融商品トラブルについて	(1) 市内で金融商品トラブルの事例はあるのか伺うとともに被害防止のために啓発が必要と考えるがその取組について伺う。		
5 脱炭素社会について	(1) エネルギー構造転換理解促進事業の現状と今後の展望について伺う。 (2) 再生可能エネルギー活用ビジョン策定の進捗状況を伺う。 (3) 松江市環境基本計画の次期策定について及び市内の二酸化炭素排出量の推移について伺う。 (4) 食品ロスの問題についてその取組を伺う。 (5) 市内でも高い技術力を持った環境分野の産業があるが、市として注力が必要と思う。今後の取組について伺う。 (6) ゼロ目標から逆算すれば今どのようなインフラをつくるべきか、何が必要かなど具体的な課題が明確になる。新庁舎建設についてどのように考えているのか伺う。 (7) 二酸化炭素実質排出ゼロの宣言をするべきではないか所見を伺う。		
6 嫁ヶ島の国登録記念物への登録について	(1) 国登録記念物とはどのようなものか、また、このことにより今後どのように取り組む考えか伺う。		
7 介護保険について	(1) 松江市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画策定の柱を伺う。 (2) スタートした時から現在までの認定率推移をどのようにとらえているのか、また、次期の介護保険料について伺う。 (3) 新型コロナの影響で介護事業所の経営悪化と人材不足が問題になっているが、市内の事業所ではいかがか伺う。		

一 般 質 問 通 告 事 項【12月7日(月)】《1日目》

令和2年第6回松江市議会定例会

順序 5	議員名 篠原 栄	(代表質問) (一括方式)	質問日 (予定)	12月7日
質問項目		質問要旨		
7	介護保険について	(4) 介護事業所に緊急包括支援交付金を活用した支援の具体的な内容と成果及び市が実施した支援について伺う。		

順序 6	議員名 田中 肇	(代表質問) (一括方式)	質問日 (予定)	12月7日
質問項目		質問要旨		
1	市長の政治姿勢について	(1) 核兵器禁止条約を実現した市民の努力について 10月24日、50か国目の条約批准が実現し、2021年1月22日をもって核兵器は違法化され、核兵器のない世界への重要なステップを上がることになる。核兵器禁止の実現に向け、被爆者を先頭に、多くの市民の皆様が75年余の永きにわたって続けてこられた多大なご努力、そして今後も取り組み続ける決意に対し、平和都市宣言をしている自治体の市長としての見解を問う。		
2	原子力発電について	(1) 中国電力の原子力発電所施設巡視未実施について 8月31日に中国電力が発表した報告書には以下の問題点がある。 ア 関連会社のサイトバンカ建物の巡視未実施について サイトバンカ建物の巡視を行っていないにもかかわらず、行ったと虚偽報告を行った人数と回数に、サイトバンカ建物に立ち入った時間が10分以下と極端に短い場合が含まれていない。 イ 中国電力の原子炉建屋・タービン建屋の巡視未実施について 中国電力は報告書で、今回の虚偽報告は、関連会社のコンプライアンス意識不足によるもので、中国電力は関与が不足していたと総括している。 ところが、報告書には中国電力自体が、原子炉建屋・タービン建屋という中枢施設の「当日巡視するはずの者が巡視したという証拠がない日」があると記載されている。 「当日巡視するはずの者が巡視したという証拠はないが、代わりの者が巡視をしたと推定する」とされているが、この総括は、原子力発電所を運営する事業者としてあってはならない安全軽視の総括ではないか。 9月30日には立ち入り調査も行われたが、この報告書についての市長の見解を問う。		



一般質問通告事項【12月7日(月)】《1日目》

令和2年第6回松江市議会定例会

順序	議員名	田中 肇	(代表質問) (一括方式)	質問日 (予定)	12月7日
質問項目	質問要旨				
2 原子力発電について	<p>(2) この問題に対する原子力規制庁の態度について</p> <p>ア 中国電力自身が原子炉建屋・タービン建屋の巡視を行った記録のない日があるという事態を重く見て、共産党市議団が原子力規制庁に、この事態は保安規定違反ではないかと問い合わせた。</p> <p>これに対する規制庁の回答は、「タービン建屋の巡視未実施は、保安規定違反」だが、「特段の異常がなかった」「事業者の改善が見込める」ので、「監視を続ける」としている。</p> <p>原子力規制庁の回答は、とても原子力発電を規制する側の対応とは言えない。市としてもこの問題を原子力規制庁に質していただきたいと考えるが、見解を問う。</p> <p>イ このような対応を行う原子力規制委員会の審査に、松江の未来を任せるわけにはいかない。たとえ、審査に合格したとしても、松江市として再稼働は認めない立場に立つべきではないか。見解を問う。</p> <p>(3) ウィズコロナの時代、少数の大規模発電所に電力供給を頼る時代は終了し、これからは、中・小規模の多数の再生エネルギー発電所のネットワークによって電力を確保する時代になったのではないか。見解を問う。</p>				
3 新型コロナウイルス感染症対策について	<p>(1) 検査体制について</p> <p>第2波を超える規模の第3波という事態を迎え、経済活動を継続しつつ感染拡大を防ぐには、無症状感染者を積極的に発見し感染拡大を抑止する検査体制の確立を政府に要求すると共に、市独自の取り組みを行うべきではないか。見解を問う。</p> <p>(2) 第3波に対応できる医療体制の確立に向け、以下の対策を強化すべきと考える。取り組みの状況と今後の方針を問う。</p> <p>ア 医療経営支援</p> <p>イ 医療従事者支援</p> <p>ウ 保健所の体制強化</p> <p>(3) 市民生活と業者支援について、困難な状況にある市民・業者に届く支援の拡充をどのようにすすめるかを問う。</p>				
4 コロナ禍の生活不安の下でも安心して生み育てることのできる松江市をめざす施策について	<p>(1) コロナ禍の影響のもとでの出生数目標達成について、これまでの枠を超えた総合的な対策が緊急に必要なではないか。</p> <p>特に、失業・収入減に見舞われた子育て世代の市民の実情を調査し、積極的な対策を講じるべきではないか。</p>				

一 般 質 問 通 告 事 項【12月7日(月)】《1日目》

令和2年第6回松江市議会定例会

順序	議員名	田中 肇	(代表質問) (一括方式)	質問日 (予定)	12月7日
質問項目		質問要旨			
4	コロナ禍の生活不安の下でも安心して生み育てることのできる松江市をめざす施策について	<p>(2) 支援の具体策について</p> <p>保護者の子育てに関わる負担軽減について、以下の施策の実現に向け取り組むべきではないか。</p> <p>ア 子どもの医療費負担無料化の前進</p> <p>イ 国民健康保険料均等割の減免の実現</p> <p>ウ 学校・保育園給食費、児童クラブのおやつ代負担の無料化</p> <p>エ 出生数を目標通り達成できても待機児童が発生しないレベルの保育所・児童クラブ待機児童対策</p> <p>オ 少人数学級・授業の実現</p>			
5	市職員・教職員の超過勤務実態について	<p>(1) 市職員の超過勤務実態の課題と是正の方向について</p> <p>市職員の中に年間 1000 時間を超える超過勤務実態があると報道された。現状と課題、今後の取り組みについての見解を問う。</p> <p>(2) 教職員の超過勤務実態の課題と是正の方向、及び教職員への変形労働時間制の導入について</p> <p>教職員の超過勤務実態も長時間勤務が継続し、コロナ禍によって実態はさらに悪化しているのではないか。</p> <p>ア 現状と課題、今後の取り組みについての見解を問う。</p> <p>イ 教育職員について、1年間の変形労働時間制を導入することができるとされた令和3年4月が近づいてきた。松江市での導入は行うべきではないと考えるが、教育長の見解を問う。</p>			